

様式第3号

会 議 録

会 議 名		第3回市民憲章見直し検討委員会	
事 務 局（担当課）		経営改革課	
開 催 日 時		平成 28 年 8 月 25 日(木) 18 時 30 分から 20 時 30 分	
開 催 場 所		市役所 4 階 庁議室	
出 席 者	委 員	新川達郎、平岡けいこ、藏原亜紀、松尾幸恵、三井ハルコ、加門文男、後藤正順、佐々木史恵、真鍋静香	
	そ の 他		
	事 務 局	松木総合政策部長、作田行政経営室長、志波経営改革課長、的場経営改革課長補佐、八尾主査、山田主事	
傍聴の可否		可	傍聴者数 0 人
傍聴不可・一部不可の場合は、その理由			
会 議 次 第		(1)開会 (2)議事 (3)その他 (4)閉会	
会 議 結 課		別紙審議経過のとおり	

審議経過

発言者	発言内容等
	【事務局説明】
委員	前文で「川西市民」といれると固くなるイメージがある。できれば外したほうが柔らかい感じがする。また、前文を柔らかめにする、本文を固くするとかをしたほうが良いのではないか。
会長	全体的に柔らかめのほうがいいのかもしいかな。 「川西市市民憲章」と最初に標題が出るので本文にあえて言わなくてもいいということもあるかもしれない。
委員	私の案は、文頭が「かわにし」となるように、ひらがなで作成した。これだけ精査されてきたらどの案がいいか、わからない。
委員	「幸せ憲章」というのを入れるのか、最初に議論しないといけない。 前文を「あんばいええまちをつくるため～憲章を定めます」にするとかなり短くなって優しくすぎる。そうすると、「川西市民は」という固い言葉もあるほうがいいのかもしいかな。あとはバランスだと思う。
委員	「幸せ憲章」という言葉に対して、前向きに受け入れられないイメージもある。例えば、幸せを明るい憲章に振り替えてしまうと、そもそもの話が覆ってしまうのか。
委員	初めて「あんばい ええまち」と見た時に友達が分からなかったのも、私より下の世代は分からないと思う。 例えば本文が頭文字を「かわにし」として凝るなら、前文は4番みたいなひねりを入れていないものがよいのではないか。
委員	前文は4でいいと思う。この市民憲章がしばらく使われるとしたら、「あんばい」にこだわらないほうがよい。「一人ひとりが幸せを実感できる」というのが個々を大事にしている感じでいいと思って、4番を選んだ。
委員	「あんばいええまち」の言葉について、小学生に尋ねたら、誰もわからなかった。やはり6番みたいに「かわにし」が前に入ったら、子どもたちは気づくだろうと思う。
委員	前文で「私たちが～憲章を定めます」でいいのか、「私は定めてない」という人もいるのではないか。 頭文字が「かわにし」というのは、非常に語呂もいいし、わかりやすいと思う。
会長	市民憲章は、市民自身が自分たちで決めて自分たちで守っていく主旨である。自分たちで「定めます」といっても問題はないと思う。

発言者	発言内容等
委員	「定めます」について、「これが私たちの幸せ憲章です」にすれば足りないか。
委員	「幸せ憲章を定めます」という語尾を変えてしまった場合、主語が「私たち川西市民は」というのが変にならないか。
会長	もしそうするなら、文章を2つに分けて「私たちは、ふるさと川西への誇りを胸に、一人ひとりが幸せを実感できるまちをつくることを誓います」「これが私たちの幸せ憲章です」というふうにすれば繋がる。
委員	「幸せ憲章」というと押し付けのようになる。「しあわせ」だけを残すと、人それぞれの幸せが別々にある。分けた方が良い。
委員	そういう意味では4番の流れが悪くない。
委員	先程の2つに分けるという文も良い。
委員	川西のオリジナリティを出すために「あんばいええまち」はいいなと私も思っていたが、小学生に全く受けない、わかってもらえない言葉となるとよくない。 そうなると4番がいいと思う。少し一文が長いところを二文にわけて、「定めます」という言葉を「です」に変えればいい。
委員	今回は本文のほうで精査されてきて、川西らしさが浮かび上がってきた時に「あんばいええまち」が無くてもいいと思った。
委員	「あんばい ええまち」は、あまりにもローカルすぎる気がする。
委員	4番の1行目の「ふるさと川西“への”」となっているが「川西“の”」でくれば言葉はおかしくなるのか。
委員	おかしくはないと思う。
委員	今までの意見と逆になるかもしれないが「定めます」という語尾はあまり変だと思わない。
会長	ここに集まっておられるかたは選挙で選ばれたわけではないが、お気持ちとしては市民の声を代表してここにおられる。そういう考えで発言をいただいているということからすると、ここで決めれば市民の方々のご意向と考えることもできるということになる。
委員	4番の前文がいるということなら、中身をもう少し練ってこれをとるという方向付でどうか。
会長	とりあえずは前文として4番。言葉はひらがなカタカナにするか等のご意見をいただくと、まずは4を前文として考えて、うまくあう本文を考えてみてはどうかと

発言者	発言内容等
	いう提案だったが、それでよろしいか。 組み合わせや修正等、意見があれば。
委員	6の前のひらがなを7に応用するという案。7は読んでみると「未来の希望」、「あしたの話」の2つずつが入っている。ビジョンが1行目に見えてきてその後に自然もあるけど住みやすいというニュータウンとして発展してきたことが見えてくる。
委員	7は5と6を折衷して考えたもの。違いは、5は「ます」調で6は呼びかけにしている。その両方を入れたもので強くはないが、丁寧でもない「語り合う、分かち合う」にただけで、最初のところをひらがなに変えてもかまわない。
会長	7番目の漢字をひらがなにしてしまうと受け止め方が変わってしまうかもしれない。
委員	ひらがなにしても、かまわない。ただ、基本はこの気持ちだというだけ。
委員	川西が頭にそろっているというのが唱える時に覚えやすいからいいなと思う。
会長	今のところ、前文は4番目で本文は7番目という流れになっている。
委員	4番を前文にするなら「あんばい」を入れるのは難しい。
委員	事務局にお伺いしたいが「あんばいええまち」というのはどの程度庁内で使われているのか。
事務局	5年間の目標をたてた総合戦略というものがあるが、これを今後も展開していくということで、行政内では周知された言葉ではある。
委員	総合戦略が終わるとその言葉がなくなる可能性があるということか。
委員	そういうことも考えられるということ。
委員	この市民憲章が長く続くのであれば懸念がある。
委員	市民憲章もいつまでも続かず、見直す時期もあるかもしれない。
委員	総合戦略の言葉として捉えるのか、いい言葉として捉えて入れるのかの違いになる。我々市民が見た時に総合戦略のことと思うのか優しい言葉だなと思うかによって変わると思う。
委員	川西市で大阪市内の映画館で本番が始まる前に川西のPRを流すと聞いているが、その中にも「あんばいええまち」が出てくるのか。
事務局	シティプロモーションをするときに「あんばいええまち」は使っていない。というの

発言者	発言内容等
	はなかなか一般的にそれを受けてどんなまちかイメージが沸かないこともあるため外向きには使っていない。
委員	それで PR されるのなら憲章にも入れるべきかと思った。外向きに使っていないのであれば、「川西＝あんばいええまち」というイメージづくりは難しいと思う。
会長	確かに外向きのプロモーションで「あんばいええまち」ではなかなかご理解が得にくいかもしれない。
委員	「あんばい」という言葉は個人的に好き。ただ街の形容詞に「あんばい」を付けた時に、何がどう「あんばいええ」か、を語らなければいけない。市民憲章については諦めた方がいいかなという思いがある。
会長	それでは前文は4で良いか。
委員	その中で「誇りを胸に、一人ひとりが幸せを実感できる」を「誇りを胸に、幸せを実感できる」でもいいと思う。
委員	「ここに」はいるのか。
委員	いらない気もする。
会長	無いと素っ気ない気もする。
委員	「ここに」をいれると急に固くなる気がする。
委員	他市では、「ここに」を「この市民憲章を」と書いているところもいくつかある。
会長	前文で市民憲章を定めますで、本文が出てくるわけだから。あえて「ここに」とか「この」とか特にいれる必要はないかもしれない。
委員	語呂としては入れたほうが繋がりやすいと思う。
委員	「ここに定めます」というのはパターンとして多い。あったら少し硬くて、ないとカジュアルかもしれない。
委員	これがあったほうが締りはいいと思う。
委員	拘らない。
委員	「へ」はどうするか。
委員	あったほうがいい。

発言者	発言内容等
委員	拘らない。
会長	では「川西への」は入れる方向で、「一人ひとり」はどうするか。
委員	ないほうがすっきりする。
委員	では、「一人ひとり」は取るがよろしいか。
会長	それでは「私たちは、ふるさと川西への誇りを胸に、幸せを実感できるまちをつくるため、ここに市民憲章を定めます。」でよろしいか。
委員	わかりやすくいいと思う。
会長	本文は7番目が候補としてあがっているが、いかがか。
委員	ひらがなでというのはいいかと思う。
委員	6番の案をひらがなにしておかしくない。7番をひらがなにしたらいいと思う。
委員	本文について「かわにし」に拘るのであれば5から7で考えないといけない。拘らないのであれば私は2がいいかなと思う。そこを議論したい。
委員	やはり最初に「かわにし」があったほうが、覚えやすくいいと思う。
会長	工夫があれば、覚えて頂いて口にしてもらう機会があるかもしれない。
委員	頭に「か・わ・に・し」がいい。覚えやすいし、他市のものを見ていて「楽しく作ったのだな」とか愛をもって作ったのだという感じが出てくる気がして、本文はそういう茶目っ気があったほうが楽しい。本文を真面目にいくなら前文に「あんばいええまち」が私の中では復活してくる。
委員	覚えやすいのがいい。語呂あわせというのは、必要かなと個人的に思う。
委員	私も語呂合わせ派で、ずっと6と7を合わせたものがいいと思っている。だんだん見ているうちに、この時間内でも少しずつ覚えられそうな感じがしてきた。市民憲章は学校で石碑とかにするのか。
委員	市役所の正面だけ。
委員	他に使ってはいけないのか。
事務局	むしろいろんな所で共有していただきたい。学校で石碑にはなっておらず市役所の正面玄関にだけある。色んなところで活用してもらいたいと思っている。

発言者	発言内容等
委員	たとえば6年生が卒業するときに記念を残して行くが、自分達で木を彫って置いていくとかそういうものに使ってもらえるような憲章であつたらいいと思う。そうすると語呂合わせがいいと思う。
委員	本文を見た時に1から7まで見た時にどれをとっても学校で先生が子供に教えるなかで、教えやすいようになっていると思う。その中で7番の「かわにし」があつたほうがいいと私も思う。
委員	7番のところで、全部ひらがなにすること。「担おう」をひらがなにしておかのか。大人はわかるが、小学生に唱和させるときに理解できるかなと思う。
委員	「担おう」を使われた根拠はあるのか。
委員	これは5番6番を参考に作成したもの。6番の「賑わおう」はおかしい気がした。「に」で使うとしたら他に何かあるかと思った時に「担おう」はかっこいいけど「賑わおう」はおかしいなと思って「担おう」にした。ひらがなになると嫌かなと思うなら「賑わおう」にして、「賑わい」の言葉を変えて「源氏ゆかりの地」にするか、もっと新しい言葉を提案していただいたら。
委員	同じ「に」だから「担おう」をカットして「賑わい」から始まる場所につなげる。
委員	「賑わいと」とここだけするか。
委員	語呂が悪いかもしれないが。
委員	始めにもいったが、5番は「ます」で、6番は呼びかけ調で提案するものを混ぜて作ったので「かたりあう」、「担おう」というふうにしてあるので。
委員	市民としての役割ということからすればこのままでいいと思う。
委員	気になるのであれば「担おう」だけを漢字にしてふりがなを振るかしかない。
委員	そこを敢えて「賑わい」を「郷土の発展」というふうにしたらどうか。源氏のゆかりということで、「担おう 郷土の発展」。 これは今の街を発展させようということで歴史は源氏ゆかりということ。なら素直に郷土というか、ふるさとの発展というか。そうすれば担うという意味がわかりやすくなる気がする。
会長	5番目が「担います」とある。これはひらがなにすると、わかりやすい。ただ7番目でここだけ「担います」はおかしい。
委員	賑わいと発展は似たようなものかなと思う。発展すると賑わうもの。そうすると郷土のほうがいい気がする。

発言者	発 言 内 容 等
会長	「担おう 郷土の発展、源氏ゆかりの街」
委員	もしくは先程のとおり漢字にしてルビをつけるか。
委員	「にないあう」ならわかりやすいのであれば「にないあう 郷土の発展 源氏ゆかりの地」でもいいかなと思った。
委員	近江八幡が語呂合わせをしていて、近江八幡は文言の前にひらがなで「おうみはちまん」として本文に漢字をいれて「美しい心」のところの「美」は漢字のままだし、こういうやり方もあると思う。
会長	これは見せかたで、むしろもっとわかりやすい。 本文は7番目が中心になっている。「担おう」のところだけもう一工夫あれば。 郷土の賑わいとか発展とか意外にいいかもしれない。
委員	「郷土」と「地」が重なるかもしれない。
会長	「郷土の賑わい 源氏のゆかり」でとめてしまってもいいかもしれない。
委員	「源氏ゆかりの地」が入ったほうがいいのでは。
委員	私は賑わいという言葉がここに入っているのがピンときた。賑わいがなかったら中心部のイメージさせる言葉が見つからなくなるような気がしている。
委員	郷土というのは「源氏ゆかりの地」を表している。
委員	「賑わう」と「発展」は一緒だから「発展」をやめて「賑わい」にするほうが。
会長	本文の一番の上のところでは賑わいと活気というものがある。
委員	賑わいと発展は私の中では違っていて、賑わうというのは今一人ひとりが生き活きしている感じで、発展というのは産業でどんどん川西市が発展していくという意味で2つ入れている。
委員	先ほどあったように、ひらがなで「かわにし」として、後を漢字にするなら「担おう」っていったって見た目でわかると思う。 「かたりあう」っていうのも漢字でいいかなと思う。そうすれば綺麗に揃う。
事務局	今ひらがなに変えた文と「かわにし」と入れてそのままのパターンと2つ作成して印刷して配布する。
委員	市民憲章の名前は「川西市市民憲章」になるのか。「あんばいええまち」が捨てきれないので副題として付けたい。

発言者	発言内容等
委員	副題をつけるなら「わたしたちがつくる あんばいええまち」が良い。
会長	「川西市民憲章～わたしたちがつくる あんばいええまち～」とするとなかなかいいと思う。 【追加資料配布】
委員	3番がいい気がする。
会長	最初にひらがながあって後に漢字が続いて意味がわかる。
委員	皆で唱和する時に唱和する人が「か」と言えば「語り合う～」と続けられる。
全員	【全員で唱和】
委員	1番よりは3番が良い気がする。こうすれば漢字にしておいても良い。変えなくてこのまま使える。
会長	「川西市民憲章」でサブタイトル「わたしたちがつくる あんばいええまち」で前文が「私たちは、ふるさと川西への誇りを胸に、幸せを実感できるまちをつくるため、ここに市民憲章を定めます。」
委員	流れが良くなった。 【全員で唱和】
会長	当委員会として皆さんに唱和いただいたかたちで答申させていただきたいがよろしいか。 【異議なし】
委員	いつどういうかたちで答申するかについては恐縮だが事務局と私で調整するため任せていただきたい。
会長	言葉そのものはこれ以上変更ないはずだが、あれば連絡させてもらう。基本、今日いただいたとおりでいく。 若干調整することはあるかもしれないが、答申は私に一任いただいて、経過については皆さんにも連絡するということによりお願いしたい。 【今後について事務局説明】